



バリ島南部、バドゥン半島のビーチリゾート地のひとつ「ジンパラン」に、昨秋、アロマトークによって「ジャムウ農園」が誕生した。



バリ島で「伝統のハーブ文化」として代々受け継がれてきたジャムウを使ったトリートメントが、日本のスパで受けることができる。

バリ島で生まれた「伝統のハーブ文化」が日本に上陸！

ジャムウを育て、健美を育む。 メデイカルハーブとアロマトークの物語

インドネシア発祥の伝統のハーブ文化「ジャムウ」が、日本のウエルネスの場で注目を集めています。バリ島で生まれ、日本でスパやスクールを展開する「アロマトーク」による、現地・ジャムウ農園の試み。そして、ジャムウを使った日本のサロンにおけるセラピーの現場取材しました。

取材文◎岡田光津子 提供◎有限会社アロマトーク

縁の深いインドネシアで ジャムウ農園をスタート

「インドネシア・バリ島に、アロマトーク1号店がオープンしたのは1997年のこと。初代が始めたバリニーズトリートメントのサロンがあったからこそ、インドネシアで多くのご縁が広がっていききました」
こう語るのは、有限会社アロマトークの井上瞳さん（取締役）。サロンを日本に移してから、独自の粧材開発などで、インドネシアとの深いつながりは続いてきました。同社ではアーユルヴェーダやバリニーズなどのアジアのトリートメントを取り入れ、ハーバルスパNASTU（東急ハーヴェストクラブ那須

内）、アロマトークJAPAN（茨城）といったスパトリートメントサロンも展開。

「サロンではお客さまに『触れる力』を大切にしたいトリートメントを提供しています。それと同時に近年は、インドネシアの漢方ともいわれる『ジャムウ』に注目し、リラックスメイクだけでなく、美容や未病に役立つ粧材として取り入れています」
ジャムウとは、古代インドネシア発祥の「伝統のハーブ」のこと。根茎、木の皮、花、種子、果実などの自然素材を用いて、すり潰してジュース状になったものを服用したり、軟膏剤として利用したり。その用途は、風邪予防、疲労回復、健康増進、治療などさまざまです。

そんな中、コロナ禍で世界中の経済がストップし、インドネシアも大きな打撃を受けました。2021年の秋、現地のスタッフと電話で話していると、「仕事がつまらなくなりましたよ……」という言葉が、これを聞いた瞬間「そうだ畑、作ろう」とひらめいたと言います。

「某広告の『そうだ京都、行こう』くらいに自然な感覚で（笑）。ジャムウの原料となるハーブを作る畑を作ろうと思い、『どこか畑を借りてほしい。そこでジャムウを作りましょう』と伝えました。すると、すぐに畑を見つけてくれて、独自のジャムウ農園が始まったのです」

バリ島に誕生した ジャムウ農園で収穫！

自然からの恵みである雨と太陽光、そして道行く牛の牛糞が肥料。自然のサイクルに合わせた栽培を実践中。



バリ島の農園は雇用形態もユニーク。当日、手の空いている地域コミュニティの人が手伝う形となっている。



ジャムウに使われる代表的なハーブとして知られる白ウコン（ホワイトターメリック）。美肌効果などに役立つ。

Column

ジャムウはインドネシアの美と健康のための哲学

解説◎上野靖（フレグランスジャーナル社取締役） <https://jamurasa.jp>

ジャムウはジャワ語で「健康への祈り」という意味の言葉。その歴史を紐解くと、すでに8～9世紀頃から王宮内の高貴な人々の健康や美容を維持するため、インドネシアにあるハーブやスパイスを調合し、症状や目的に合わせた飲み物（ジャムウ）が作られていたことが分かっています。現代では、王宮で生まれたさまざまなレシピを再現したジャムウ商品が多く販売され、薬学などの研究により、薬として販売されているものもあります。ところが、まだ日本ではジャムウと聞くと、「石鹸」「精力剤」「苦くてまずい飲み物」といった認識を持つ方が多いようです。だからこそ、ジャムウの語源である「健康への祈り」のために使われてきたツールであることを今一度認識し、「インドネシアの美と健康のための哲学」として、ジャムウを国内に広めていくことが大切だと思っています。



9世紀に建てられた、ジョグジャカルタにあるボロブドゥール寺院。そのレリーフには、ジャムウを美と健康のために扱う姿が描かれている。

今秋発売! オイルとスクラブで ジャムウの効果を体感!

オイルとスクラブをセットで使えば
ジャムウの効果を最大限引き出し、
身体を内側と外側からしっかりケアできる。



アロマトークジャムウ・ボディオイル

ジャムウの代表的なハーブ「クスリウコン」と「ホワイトターメリック」の抽出液を配合したボディオイル。身体をやさしく温め、美しい肌へ。ジンジャーやカルダモンなど5種類の精油をブレンドしたスパイシーな香り(10月発売予定)。



アロマトークジャムウ・ボディススクラブ(ボレ)

伝統的なインドネシアのスクラブを日本のサロン環境に合わせて改良した、アロマトークオリジナル「ボレ」。ターメリック、ジンジャーなど、ジャムウ由来の植物抽出液と米粉、サンダルウッドパウダーが配合されている(9月末発売予定)。



木の葉型スチームベッド 葉MAM

ハーブテントは気持ちいいけれど、座り続けているのが難点。ベッドに横になったままハーブ浴ができれば……。そんな発想から生まれたスチームベッド葉MAM。上記のジャムウ製品と組み合わせたジャムウトリートメントを提案!



有限会社アロマトーク

茨城県那珂郡東海村村松2012-10
TEL.029-287-2966



サロン
www.aromatalk.ibaraki.jp
オンラインストア
www.aromatalk-store.com

ウ・ボディオイルのベースは、抗酸化作用があるセサミオイル。そこにジャムウの中でも万能薬として使用されるクスリウコンと白ウコンの抽出エキスを配合しています。「ウコンはショウガ科なので、身体を温めて血行促進する作用があるといわれています。特にエフルラージュなど、長いストロークの手技では、肌にほんのりとした温かさを実感していただくことができます」

ジャムウ・ボディススクラブ(ボレ)は、バリ島で伝統的に使用されている「米粉」にショウガエキス、ウコンエキス、サンダルウッド粉末などを配合。インドネシアで使われる通

常のボレは、ハーブを石臼ですり潰して水で溶き、それを身体に塗り、乾いたら擦って落とします。そのため、準備や後片付けに時間がかかってしまうのが難点でした。「この部分を改善するため、弊社のボレはクリーム状で、ホットタオルの拭き取りのみで完結できるようになっています。現場のセラピストとしてはとても助かっています」

スクラブという夏のケアのイメージが強いかもしれませんが、冬は乾燥で肌が固くなりやすく、冷えへのアプローチとしてもオールシーズンメニューとして活用できます。首から下の全身をスクラブしてい



Profile

井上 瞳さん

いのうえひとみ 有限会社アロマトーク取締役。セラピスト歴11年。アーユルヴェーダやバリニーズの講師としても活動。ジャムウを含め、リラックスだけでなく未病や美容にも役立つ、正当なバリニーズトリートメントの普及に尽力している。

新たなコミュニティを育む 希望あふれる場に

現地スタッフは一人。あとは周辺のコミュニティの人を雇い、ハーブの世話や収穫をお願いすることに。ジャムウ農園によって、インドネシアの人たちの生活を守りたいという思いがありました。同時に、SDGsやフェアトレードを考慮しつつ、その先をゆく組織の在り方を模索し

たいという思いもあつたといいます。「これまでの中央集権型の経済システムではなく、意思決定が分散化された一つの組織を作りたいと常々思っていました。一つの村だけれど村長は存在せず、みんなが自発的に活動し、各自が適正な報酬を得て生活が成り立つ。このジャムウ農園は、そんなコミュニティを実現するための場でもあるのです」

は、バリ島でも高級ホテルが立ち並び、ジャムウの代表的なハーブ、クスリウコンと白ウコン(ホワイトターメリック)の他、赤ショウガ、レモングラス、クミスクチン(ネコノヒゲ)の5種を栽培中です。「先日、畑の写真を送ってもらったら、パイアとバナナが勝手に植え

られたいました(笑)。現地の人たちが畑仕事の合間に食べるのでしよう。こういう自由な感じもいいなと思っています。農業は初めての試みですが、現地の人たちと連携を取りながら、新しい仕事の在り方を形作っていききたいです」

ジャムウは「健康への祈り」 この奥深さを伝えたい

インドネシアでのジャムウ農園やこれまでのサロン活動のノウハウを活かした「ジャムウ・ボディオイル」「ジャムウ・ボディススクラブ(ボレ)」は、今秋発売します。これに先駆け、ハーバルスパNASUでは、「ジャムウのよさを多くの方に知っていただきたい」という思いから、「JAMU トリートメント」を提供してい

ます。こちらのトリートメントは、バリニーズトリートメントの手法がベースとなっています。バリニーズトリートメントでは、古くから「身体の内側の健康と外側の美のバランス」が重要視されていますが、ほかのメニューとの違いは、どのようなところにあるのでしょうか。「ジャムウ・ボディオイルを使ったマッサージに、ストレッチ、指圧を織り交ぜ、強めのタッチで身体の深部まで疲れをケアし、健康へと導きます。最後はジャムウ・ボディススクラブ(ボレ)で首から下の全身の角質をケアし、すべすべで艶やかなお肌。この内外の調和が健康にとって不可欠で、このトリートメントの魅力といえます」

同サロンで使用しているジャム



日本のスパで ジャムウを使った トリートメントを提供!

栃木県那須郡の「ハーバルスパNASU」では、ジャムウを使った「JAMUトリートメント」を提供している。



写真左上/ジャムウオイルで全身をほぐした後、スクラブで保湿しながらすべすべの素肌に。写真右下/バリ島への旅行気分が味わえる異国情緒漂う店内。

ジャムウの本質は変えず 使いやすさを追求!

これまでジャムウが担ってきた「健康への祈り」としての役割はそのままに、使いやすさを現代風にアレンジ。



従来のジャムウは準備や片付けに時間がかかっていたが、新商品のジャムウシリーズは効果効能をそのままに、セラピストの使いやすさも追求している。



今秋発売予定のジンジャーティー(ウエダン・ジャヘ)もジャムウの1つ。リラックス効果ほか風邪予防にも効果的(写真は現地で作ったジャムウ)。